

## ○代議員発言・総括答弁要旨

### (1) いわて生協 内澤 祥子 代議員

第2号、3号議案に賛成の立場で発言する。私たちは誰もが健康で安心して暮らしたいと思い、生協の場を通じて様々な活動に取り組んでいるが、残念ながら現実には逆の方向に進んでいると思う。

平和問題に関連して、いわて生協ではこれまでも戦争の悲惨さや平和を学ぶ取り組みを重ねてきたが、今年は今までも増して力を入れる計画であり、みなさんに参加してもらいたいと思っている。学習すれば誰でも「戦争はダメ」と思うはずである。しかし思うだけではなく行動に移さなくてはならないと思う。その一歩として組合員と職員が「平和声カード」に気持ちを書いて出してもらおうと取り組んでいる。集めたカードは8月に岩手県選出国會議員を通じて国会への要請行動につなげたい。今、私たちははっきりと意思表示をしなければならない時だと思う。

昨年12月の協同組合講座は色々な生協の方と学べたのは、とても有意義であった。その中で生協は生協の枠にとらわれず、地域の様々な団体と協同して、地域に根ざした活動をしていくこと、交流を通してお互いを理解しあうことが大事だと思った。これから私たちを取り巻く地域社会や政治・経済、色々な動きが出て来ると思う。難しいこともたくさん出てくると思うが、ぜひ県連にはわかりやすい学習の機会を与えて欲しいと思う。県連には先に立って運動を進めて欲しいと思うし、私たちも結集してともにがんばりたい。

### (2) 盛岡医療生協 千葉 仁志 代議員

第8次中計P. 39「だれもが健康で安心して暮らせる地域・コミュニティづくり」の中で特に「健康づくり」について発言する。岩手県は脳卒中死亡率が全国ワースト1位となっており、このような結果からも健康寿命を延ばして、脳卒中を予防し、健康づくりを行うことが大事だと思う。医療生協では今年も「健康チャレンジ」に取り組む。8つの生活習慣と2つの健康指標があるが、この項目を日々の生活で気をつけていただき、ぜひみなさんにも生活の中に取り入れていただき、自分の健康寿命を延ばして欲しいと思う。ワースト1位からの脱却を目指して「健康チャレンジ」への参加と協力をお願いしたい。

### (3) みやこ映画生協 榎桁 一則 代議員

第1号から第3号議案まで議案については賛成の立場で発言する。

仮設住宅での上映会では、これからどうするかと話す方も多い。復興予算の中で実際に被災者の手元に届いたのは30%も無いのではと思う。復興予算がどのように使われているのか、必要な方には届いておらず、被災者生活再建支援は後退していると思う。

平和の危機に関して、映画生協の活動の一つとして、秋には平和をテーマにした作品の上映を企画し学ぶ取り組みをしたい。いわて生協宮古コープや平和クラブの方と一緒に進めたい。

(議案書P. 62の取り組みについて)昨年度まで13市町村、300回以上の上映会を行ってきた。どこへ行っても喜ばれ、逆にこちらの励みになっている。今後も引き続き活動をしていきたい。

### (4) 岩手県高齢者福祉生協 高橋 由香 代議員

岩手高齢協では「元気な高齢者をもっと元気に」をスローガンに福祉事業・高齢者生きがい作りを事業として

いる。平成27年に制度改正が行われ介護報酬が引き下げられ、事業の運営が非常に厳しくなっている。第8次  
中計の「だれもが必要な介護を受けて安心して暮らせる地域になるよう、諸団体と一緒に行政や社会福祉協  
議会への要請に取り組む」としているの、自治体への要請では常に現状を知っていただき、地域間格差が生じな  
いように一緒にお願いしていきたいと思う。また、生協の果たすべき役割としてどのような支援が出来るか、一緒  
に知恵を出し合って岩手の福祉は全国に誇れる社会になればと思う。微力ではあるが生協連と一緒に、がんば  
っていききたい。

#### (5) 岩手県庁生協 佐藤 俊哉 代議員

いよいよ来年に国体が行われる。各県から指導者・選手など全国からたくさんの方が岩手を訪れるが、ぜひ  
被災地の現状を見ていただきたい。指導者の方たちに岩手を応援する方法として、スポーツ以外にもいろいろあ  
ることを、県に戻られてからも考えていただけるよう、国体にむけ盛り上げていこうと考えている。

#### (6) 花巻農協 吉田 正志 代議員

農協改革について、この改革は政府や政界による攻撃ではあるが、きちんと自分たちの組織を見直して強化  
していかないと、農協そのもののアイデンティティを失いかねないと思う。協同組合という立場で、みなさんからご  
意見いただきながら何とか改革を進めていきたいので、よろしく願いしたい。

#### ○意見に対する理事会からの総括答弁 加藤 善正会長理事

特に質問はなかったが、重要な発言についてお話しする。

生協の枠にとらわれず、地域社会や地域コミュニティとの関連で、協同組合がいかにその役割を果たすか、  
今後とても大事になると思う。いま農協改革について国会で協議されているが、地域協同組合から職域協同組  
合にして準組合員は利用を制限することについて、貯金や共済で利益を上げている都市部の農協が反対してい  
る。地方の農協は中山間地の小さい農家の面倒も見ているが、それも出来なくなる。そうなると日本の農業は中  
山間地で耕作面積の4割くらいを占めており、生産物の35～6%を支えている。これがなくなったらますます食料  
自給率が下がる。政府は新自由主義経済を目指しており、弱者の立場に立った協同組合は相容れない存在と  
なる。今は農協だがやがて全体的な協同組合の解体へとつながると思う。5年後の農協見直しのときにおそらく  
生協へ対して本格的な規制が行われると思っている。

今年は被爆・終戦70年。戦争を取り上げた映画はたくさんあるので、地域の生協でもみやこ映画生協へ出前  
映画会をお願いし、戦争の悲惨さ、本質を学ぶ1つの手段として戦争映画を観るというのもよいと思う。これも全  
国で唯一映画生協がある、岩手だからこそできる事だと思う。

介護社会保障制度の改悪についても、政府は税金を上げながら社会保障をどんどん改悪している。日本の  
民主主義が国民の声が届かない、危険な方向へ進んでいる。主権者である国民の意思が反映しない政治はど  
こへ向かっているかがはっきりしてきたと思う。組合員の願いをかなえるためには、協同組合運動を大いに発展  
させてがんばって行きたいと思う。